

多可

子ビシタイムズ

2016
年度

2016.07.01 平成28年 34号 発行：多可町教育委員会 〒679-1114 多可郡多可町中区岸上224-17
TEL : 0795-32-2816 E-mail : kodomo@town.taka.lg.jp



表紙写真 中町北小学校



おもな内容

- ・ピックアップ学校園
- ・あつたかトピックス

ピックアップ学校園

中町中学校



中学校3年間を一緒に過ごしていい良いなかまづくりの機会となりました。「凡事徹底 時を守り、場を清め、礼を正す」の学校目標のように、立派な中町中生へと成長してほしいと思います。

夜には生徒たちが楽しみにしていたスタンツ・キャンドルサービスがありました。1ヶ月ほど前から、全員で楽しむための出し物を班ごとに考え、一生懸命練習したかいあって、全員が笑顔で過ごすことができました。司会進行も全て生徒で行なうなど、生徒主体の活動となりました。

○キャンドルサービス

1日目の最初の活動は鉢伏山登山。約1時間かけて頂上まで登りました。登山途中には、弱気な声も聞こえていましたが、登頂したときの達成感は素晴らしい、全員が清々しい顔をしていました。声をかけ合い、支え合いかながら登頂することができました。



○鉢伏山登山

5月13・14日、澄み渡る真っ青な晴天の中、入学して1ヶ月経つた1年生が野外活動へ行きました。

仲間を「認め合ひ、支え合ひ」

13日までの3日間、1年生49名が鉢伏高原へ野外活動に行ってきました。スローガンは「認めようキズナ—Let's 渡来人！」

鉢伏高原は、春の穂やかな日差しのもと、すべての活動において、一人一人が責任を果たし、みんなで協力しながら真剣に、かつ楽しく取組みました。舞台に展開したウルトラアドベンチャーゲームでは、班で協力して一つ一つ課題を解決していくことを解説していました。鉢

伏山登山での頂上から見た景色は絶景でした。2日目の昼食、飯ごう炊さんも班で協力し、最高の味のカレーライスを作りました。キズナたいむ、校歌コンクールは厳正な審査の結果、なんと引き分けで校内校歌コンクールまでの延長戦にもつれこみました。仲良くなるために各班で考えた提案（出し物）は圧巻、工夫いっぱい、みんな一生懸命で笑顔と大笑いの連続となりました。思い出にデザインした焼き板クラフト、感謝を込めたクリーン大作戦…。

集団生活や自然とのふれあいを通して、友だちの良さや違いを認め合い、居心地の良い集団になることができました。

伏山登山での頂上から見た景色は絶景でした。2日目の昼食、飯ごう炊さんも班で協力し、最高の味のカレーライスを作りました。キズナたいむ、校歌コンクールは厳正な審査の結果、なんと引き分けで校内校歌コンクールまでの延長戦にもつれこみました。仲良くなるために各班で考えた提案（出し物）は圧巻、工夫いっぱい、みんな一生懸命で笑顔と大笑いの連続となりました。思い出にデザインした焼き板クラフト、感謝を込めたクリーン大作戦…。

松井小学校



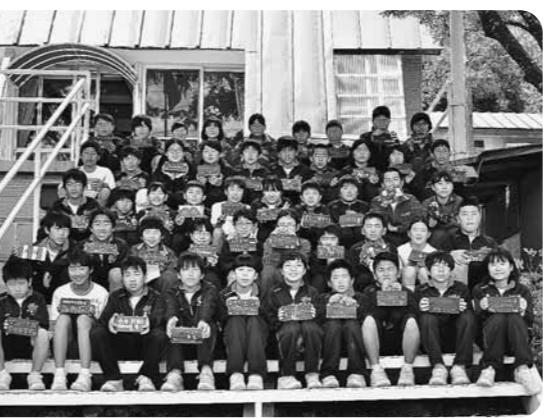
1日目は、東京ディズニーランドへ行きました。夢の国でアトラクションに乗ったり、お土産を選んだりと、あつと/or>う間に楽しいひとときが過ぎました。



初日は、東京ディズニーランドへ行きました。夢の国でアトラクションに乗ったり、お土産を選んだりと、あつと/or>う間に楽しいひとときが過ぎました。

本校では、毎年、年度の早い時期に、子どもたちの安全・安心のために様々な取組を行っています。

交通安全教室



1日目は、東京ディズニーランドへ行きました。夢の国でアトラクションに乗ったり、お土産を選んだりと、あつと/or>う間に楽しいひとときが過ぎました。



3年生は、新ラーメン博物館でお昼は、新ラーメン博物館で好き



3日目



都内の班別自主研修。各班で計画したコースを散策しました。慣れない移動や、ハ



事に、集合場所のお台場ジテレビに到着することができました。



した「コースを散策しました。慣れない移動や、ハ

ブニングなどもありました。全員が無事に、集合場所のお台場ジテレビに到着することができました。



した「コースを散策しました。慣れない移動や、ハ

加美中学校

都内の班別自主研修。各班で計画したコースを散策しました。慣れない移動や、ハ

3年生 修学旅行

都内の班別自主研修。各班で計画したコースを散策しました。慣れない移動や、ハ

ピックアップ学校園

中町南小学校



毎月第一金曜日の朝読の時間を利用して「ほんとタイム」を行っています。担任している以外の学級の児童に図書室で選んだ絵本を読み聞かせるという活動です。

子どもたちは、「今月はどんな本を読んでもらえるのかな」という期待はもちろんですが、「今月はどんな先生に読んでもらうのかな」という楽しみもあります。そこで紹介された本は、次々と貸し出しが続き、「読んでもらっておもしろかった本は、自分で読んでもおもしろい」という実感につながっています。

○教師とコラボ
毎月第一金曜日の朝読の時間を利用して「ほんとタイム」を行っています。担任している以外の学級の児童に図書室で選んだ絵本を読み聞かせるという活動です。

○家庭とコラボ
毎月第3日曜日の「家庭の日」を利用しながら、様々な読書活動を推進しています。

読む人も読まれる本もうれしいね

読書活動の推進に向けたコラボ計画

本校の読書活動の推進に向けたコラボ計画を紹介します。

○1年生と6年生のコラボ

雨の日限定で、1年生が6年生に本を読んでもらうという活動です。

○クラブとコラボ

調理クラブでは、「わかつたさんシリーズ」などを読んでおやつを作ったり、手芸クラブでは、フェルトで絵本のキャラクターを作ったりする計画です。

○家庭とコラボ

毎月第3日曜日の「家庭の日」を「今日はうち読の日」として親子読書を推進していきます。

従来から取り組んでいる「読書貯金通帳」を用いて、各家庭で読書活動を推進していく予定です。

八千代小学校



☆業間パワーアップ大作戦
自己の目標に挑戦する体力づくりの推進として、2校時と3校時の間の休み時間を利用して、継続的な運動を通して児童の体力維持・向上を目指していきます。

具体的には、以下のように曜日ごとに内容を設定して計画的に進めていきます。

八千代小学校開校!

「おひさまいっぱい緑をてらし
きょうも希望の朝を呼ぶ♪」
4月7日、開校式で子どもたちの歌声が体育館に響き渡りました。

歌謡曲「八千代小学校が新たにスタートを切りました。学校教育目標

全児童301名

と教職員34名で、

八千代小学校が

新たにスタート

を切りました。

学校教育目標

は、「学びを樂

しみたくましく、こころ豊かな

八千代っ子の育成へ笑顔ひるがる楽

しい学校」として、様々な教育活

動に取り組んでいきます。なかでも、

特に力を入れたいもののひとつが体

力づくりの取組です。

☆6月オープンスクールで開校イベント開催!

本校の開校を祝い、PTAが中心となり、開校イベントを行いました。内容は、県警音楽隊のふれあいコンサート、スタンプラリー、豚汁サービス、記念植樹、紅白玉入れ大会でした。地域・保護者の皆様、多くご参加いただきありがとうございました。

木曜…たてわり遊び

月曜・水曜…学級遊び

火曜…かけ足

木曜…たてわり遊び

▲授業の始まるチャイムは自分の席で静かに聞く。学習への意欲を高める取組です。

学力の向上に向け、その基盤となる学習規律の確立に全校をあげて取り組んでいます。そのためマニュアルとなる「中北小学びスタンダード」を作成中です。学習道具の準備から学習中の心構え・ノートの使い方や学習方法の習得まで、当たり前の事が当たり前にできる児童を育てる本校では、より命を守る行動が求められます。バス通学の児童へのバス乗車前の横断にも気を配った指導をしています。また、各集落の道でもスピードを上げた車をよく見かけます。「安全教育は、まず家庭から」と警察署の方は言われましたが、家庭と学校が連携した交通安全の取組を進めていきたいと思います。

▲1年生歓迎遠足。
1年生に喜んでもらえて満足。

本校には、異年齢で構成された集団「わんぱく班」があり、毎週木曜日の「わんぱくタイム」や「1年生歓迎遠足」などの児童会活動に「わんぱく班」を使っています。時代の流れと共に縦の繋がりが希薄化していく中で、異年齢の集団でこそ育つ学年を越えた互いを思いやる心、リーダーシップ、上位の学年を尊敬する気持ち、我慢する力など、の育成に一翼を担っています。

生くる力の育成
一知・徳・体のバランスのとれた子どもにー
「わんぱく時間」や「1年生歓迎遠足」などの児童会活動に「わんぱく班」を使っています。時代の流れと共に縦の繋がりが希薄化していく中で、異年齢の集団でこそ育つ学年を越えた互いを思いやる心、リーダーシップ、上位の学年を尊敬する気持ち、我慢する力など、の育成に一翼を担っています。

本校には、異年齢で構成された集団「わんぱく班」があり、毎週木曜日の「わんぱくタイム」や「1年生歓迎遠足」などの児童会活動に「わんぱく班」を使っています。時代の流れと共に縦の繋がりが希薄化していく中で、異年齢の集団でこそ育つ学年を越えた互いを思いやる心、リーダーシップ、上位の学年を尊敬する気持ち、我慢する力など、の育成に一翼を担っています。

杉原谷小学校

中町北小学校

徳

本校には、異年齢で構成された集団「わんぱく班」があり、毎週木曜日の「わんぱくタイム」や「1年生歓迎遠足」などの児童会活動に「わんぱく班」を使っています。時代の流れと共に縦の繋がりが希薄化していく中で、異年齢の集団でこそ育つ学年を越えた互いを思いやる心、リーダーシップ、上位の学年を尊敬する気持ち、我慢する力など、の育成に一翼を担っています。

あいさつ運動

「おはようございます。」

毎朝大きな声が玄関前から聞こえます。

3年生以上の代表委員会のメンバーが年間を通して玄関前に立ち、元気なあいさつの輪を広げようと頑張っています。あいさつ当番の声に反応して大きな声であいさつを返す児童、あるいは声を返す児童、あいさつ当番より先きにあいさつをする児童と様々ですが、「あいさつは心を開く第一歩」。自ら進んであいさつができる児童を育成していきます。

【校訓】強く・明るく・温かく ーあいさつ・体力向上・命を守るー

会のメンバーが年間を通して玄関前に立ち、元気なあいさつの輪を広げようと頑張っています。あいさつ当番の声に反応して大きな声であいさつを返す児童、あるいは声を返す児童、あいさつ当番より先きにあいさつをする児童と様々ですが、「あいさつは心を開く第一歩」。自ら進んであいさつができる児童を育成していきます。

見えるように『体育ノート』を作成し、体育の授業を中心に活用しています。このノートは、2年間継続して使用することで運動能力の変化や成長の跡を確かめられるようにし、児童に意欲を持たせる工夫をしています。また、保護者に目を通していくことで、家庭と連携した体力づくりをめざしています。

見えてきた知・徳・体の育成。激しく変わった社会を生きる子どもたちだからこそ、確かに学力、豊かな心、健やかな体の知・徳・体をバランスよく育てることが重要です。中北小でも、全教育活動を通してそれらの育成を図つきました。本校の特筆すべき取組を紹介しましょう。

組んでいます。そのためマニュアルとなる「中北小学びスタンダード」を作成中です。学習道具の準備から学習中の心構え・ノートの使い方や学習方法の習得まで、当たり前の事が当たり前にできる児童を育てる本校では、より命を守る行動が求められます。バス通学の児童へのバス乗車前の横断にも気を配った指導をしています。また、各集落の道でもスピードを上げた車をよく見かけます。「安全教育は、まず家庭から」と警察署の方は言われましたが、家庭と学校が連携した交通安全の取組を進めていきたいと思います。

▲1年生歓迎遠足。
1年生に喜んでもらえて満足。

本校には、異年齢で構成された集団「わんぱく班」があり、毎週木曜日の「わんぱくタイム」や「1年生歓迎遠足」などの児童会活動に「わんぱく班」を使っています。時代の流れと共に縦の繋がりが希薄化していく中で、異年齢の集団でこそ育つ学年を越えた互いを思いやる心、リーダーシップ、上位の学年を尊敬する気持ち、我慢する力など、の育成に一翼を担っています。

ピックアップ学校園

四恩こども園

四恩こども園では、モンテッソーリの教育理念をもとに0～2歳、3～5歳の子どもたちが一緒に生活しています。そのなかで、お互いを尊重し、刺激し、影響を受けあいながら共に育ちあっていく姿が何度も見られます。

昨年、親子の日、で5歳児が竹馬を作りました。「こんなん絶対乗らへん」と言っていた子どもたちでしたが、何度も練習を重ねる中で、一人乗れるようになり、2人3人と、どんどん乗れる子が増えています。そんな様子をずっと見ていた今の5歳児。見よう見まねで挑戦はじめ、乗れる子どもが小さな先生となつたおかげで、さらにに乗れるようになりました。子が半数ほどいます。

・小さい子が大きい子の活動を見て学ぶ。

・実際にやってみて学ぶ。

・できるよになつたことを、小さい子に教えて学ぶ。

このなかで、自主性を身につけ、徐々に他人への思いやりや、自己抑



経験と感動が子どもを育てる

制などの社会性を身につけていきます。様々な経験を通して、子どもたちの「やってみたい」「できるようになりたい」という気持ちを大切にし、心も体も満足できる活動に取り組めます。

「四恩」こども園では、モンテッソーリの教育理念をもとに0～2歳、3～5歳の子どもたちが一緒に生活しています。そのなかで、お互いを尊重し、刺激し、影響を受けあいながら共に育ちあっていく姿が何度も見られます。

昨年、親子の日、で5歳児が竹馬を作りました。「こんなん絶対乗らへん」と言っていた子どもたちでしたが、何度も練習を重ねる中で、一人乗れるようになり、2人3人と、どんどん乗れる子が増えています。そんな様子をずっと見ていた今の5歳児。見よう見まねで挑戦はじめ、乗れる子どもが小さな先生となつたおかげで、さらにに乗れるようになりました。子が半数ほどいます。

・小さい子が大きい子の活動を見て学ぶ。

・実際にやってみて学ぶ。

・できるよになつたことを、小さい子に教えて学ぶ。

このなかで、自主性を身につけ、徐々に他人への思いやりや、自己抑

キッズワンドやちよ

（感動ある「生活」を求めて）

エリア遊び保育

豊かな自然環境に恵まれた「キッズワンドやちよ」は、今年度30名の園児が入園し、現在では、136名が在籍しています。

当園は、平成11年4月に幼保一体化施設として、現在の地にできました。今では、認定こども園という制度ができる、幼保一体の園もあちらこちらにできていますが、当時は全国的にもめずらしく、時代を先取りした施設でした。木のあたたかみを感じる園舎に、広い砂場や数々の広葉樹がある林や広々とした芝生広場もあります。



豊かな自然環境から学ぶ

平成26年度に、ひよつけH「こじょう」では、クラスに関係なく、子どもたちは思う存分、自分の好きな遊びを楽しむことができます。保育者も担当するエリアを決め、子どもたちの遊びがさらに発展するように環境づくりに努めています。

八千代北小地区への園外保育、11月に旧八千代西小地区への園外保育を予定しています。地域の中で、地域に支えられた地域の中での豊かな心が育つということを願っています。今年度の体験活動として6月に泥田遊び・田植え体験、7月にホタル幼虫放流と川遊び、10月に旧八千代北小地区への園外保育、11月に旧八千代西小地区への園外保育を予定しています。



ちびっこワンドやくわん



おじいちゃん・おばあちゃんとのふれあい

おじいちゃん・おばあちゃんは、高齢者施設と併設しているので毎月の誕生日会やそれぞれの施設との交流、お花見や敬老会、運動会でおじいちゃん・おばあちゃんとのふれあう機会があります。

4月には、なか・やちよの森公園でお花見をしました。新入児にとつては入園し、間もない時でしたが、おじいちゃん・おばあちゃんとの優しい言葉かけにニッコリ！在園児たちは、とてもなごやかなひと時でした。

広々とした公園で歩いたり走ったりして体を動かし、解放感いっぱいの遊びあそび、その中でおじいちゃん・おばあちゃんとのふれあいは、とてもなごやかなひと時でした。

おじいちゃん・おばあちゃんとのふれあいを通じて、子どもたちに安心感を与えてくれます。こうしたふれあいを通して、子どもたちに豊かな心情が育っていくことを願っています。



キッズワンドかみ

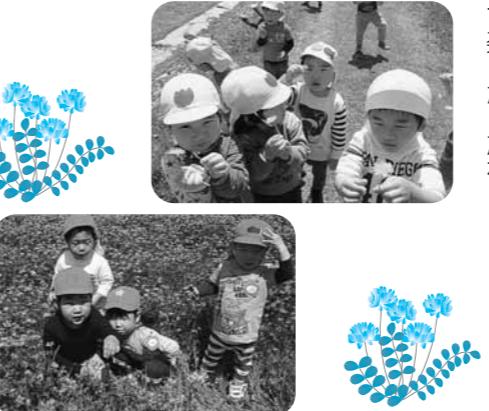
（自分の住んでいる多可町を知ろう）

キッズ探検隊がゆく

「キッズワンドかみ」では今年度、右記の目標を軸に、子どもたちがキッズ探検隊になり、多可町の様々な場所に出掛け、自然に触れたり、発見する機会を計画しています。

自分の住んでいる町の良さに気付き、幼いながらにも多可町を好きになつて欲しいと思っています。

花見を行ったよ！



こいのぼり（八千代区俵田）を見に行きましたよ！

大きなこいのぼりが、たくさく空に泳いでいる姿を見て「うわあ～すごい。おおきいね」など、みんな大歓声！

棚田（加美区岩座神）を散策しました。



桜の木の下でひと休み♪ 気持ちがいいね！



あつたかトピック

ピックアップ学校園

あさかこじども園

あさかこじども園では、小学校就学に向けたら歳児クラスで様々な独自プログラムを行っています。外部講師による体操教室・ダンス教室。千ヶ峰を含む多可町の山に挑戦する登山、園内講師による音楽教室、そして今回紹介する「茶道教室」です。

「運動」を中心とした「動」の活動の多い中、落ち着いてゆっくりとした時間を楽しむ「静」の活動です。月に一度、理事長の自宅の座敷で、「お茶会」をします。

講師は、鳳凰福祉会理事長愛水谷明美です。



も子どもになじみのある大好きなお菓子を選びます。そうして、お茶会が好きになれば、お茶を少しづつ濃い味にしていき、お菓子も季節を感じられるような物にしていきます。季節感は掛け軸や生け花からも感じられるように工夫します。お茶会では、①お菓子・抹茶のいただき方、②お菓子・抹茶の運び方を練習します。

活動を通して、「先生や友達をしつかり見る、聞く」の力、静かな雰囲気の中で落ち着いて活動する力が身につければと願っています。

最初は、お抹茶の味に戸惑う子もいるので、ごく薄いお茶から始めます。また、いっしょに食べるお菓子



今口も元気に遊ぼうね！

「〇〇ちゃんおはよっ♪やさます」と声をかけると、元気な声で返してくれる子、少しばんかんじにっこりしている子、子どもたちはそれぞれのあいさつを返してくれます。子ども園の一日が気持ちよくスタートできるように「今日も一日元気で遊ぼうね」そして保護者の方には、「大切なお子たちをお預かりします」の思いをもって、毎朝の時間大切にしています。

みどりこじども園では、子どもたちにとって心豊かで安定した生活の場となるような子育て支援を行う中で、「たんばるちから」を目標に保育、教育に取り組んでいます。子どもたちの考えた遊びが異年齢の中で広がり盛り上がりしていくように援助し、子どもたちが自分の思いを言葉や表現を通して出せるように、そしてその思いを保育者がしっかりと受けとめ、認めていくよう努めています。

今年も、園内だけでなく、いろいろな場所に散歩に出かけ、子どもたちが多可町の豊かな自然に親しみながら、どんな不思議を発見してくれるか楽しみです。



子連協事業の紹介

「子連協」とは、子ども会育成連絡協議会の略で、地域の子ども会の活動を応援するボランティア団体です。様々な活動を通して、子ども同士の親睦と相互の協調を図り、会の健全な発展を目指して活動を続けています。

(多可町子連協事務局・こじども未来課)

○野外活動リーダー研修会

とき 7月3日(日)
ところ 県立嬉野台生涯教育センター
対象 小学生・中学生

(昨年度の様子)

子ども作品展

今年度も子ども作品展を中心公民館で開催します。例年、力作ぞろいの作品が出展されます。ぜひ一度足をお運びください。

(多可町子連協事務局・こじども未来課)

○子ども作品展(文化祭と同日)

とき 10月29日(土) 9時～20時
ところ 多可町中央公民館(予定)
担当課 こじども未来課
☎ (082) 223-0150

(昨年度の様子)

子ども芸能祭

今年度も第5回目となる子ども芸能祭を開催します。町内で芸能活動に取り組む子どもたちを対象に、練習成果の発表、交流を行いますので、ぜひご覧ください。

(多可町子連協事務局・こじども未来課)

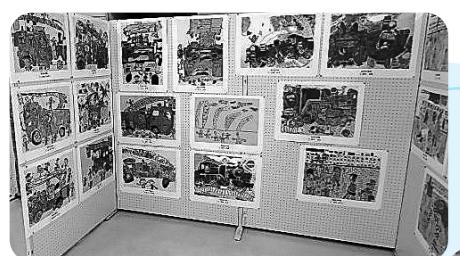
○第5回子ども芸能祭

とき 11月13日(日)
ところ ベルディーホール
担当課 こじども未来課
☎ (082) 223-0150

(昨年度の様子)

ピックアップ学校園

- 北播磨地区子ども会議
とき 12月18日(日)
ところ 多可町中央公民館
対象 小学生・中学生
- 少年少女ミニサッカー大会
とき 1月29日(日)
ところ ガルテンハ千代グラウンド
対象 小学4年生～6年生



みどりこじども園

「〇〇ちゃんおはよっ♪やさます」

声をかけると、元気な声で返してくれる子、少しばんかんじにっこりしている子、子どもたちはそれぞれのあいさつを返してくれます。子ども園の一日が気持ちよくスタートできるように「今日も一日元気で遊ぼうね」そして保護者の方には、「大切なお子たちをお預かりします」の思いをもって、毎朝の時間大切にしています。



やさ～ん
こんにちは！

7



あつたかトピック



あつたかトピック

■ノーブル活動の取組について

町内各中学校では、今年度も週に一回のノーブル活動デーを実施します。ノーブル活動デーの実施により生徒の休養や規則正しい生活はもとより、ケガの防止や効率的な活動を目指します。

また、家族とのふれあいや趣味等の時間を持つことで生徒や教職員の心身のリフレッシュを促し、実りある部活動が実現できる環境づくりを進めていきます。

○ノーブル活動デーの曜日

中町中学校 ··· 毎週火曜日
加美中学校 ··· 毎週月曜日
八千代中学校 ··· 每週月曜日

■教職員定時退勤日について

定時退勤（ノーブル活動デー）の取組を今年度も継続します。ご理解をよろしくお願ひします。

○教職員の定時退勤日

中町南小学校 ··· 毎週木曜日
中町北小学校 ··· 毎週木曜日
松井小学校 ··· 每週木曜日
杉原谷小学校 ··· 每週金曜日
八千代小学校 ··· 每週木曜日
中町中学校 ··· 毎週火曜日
加美中学校 ··· 毎週月曜日
八千代中学校 ··· 每週月曜日

■なつチャレンジ2016の紹介

今年も「なつチャレンジ」の時期がやってきました。この夏の子ども体験学習には、毎年たくさんの方々の募集をいたしています。町内外の人やもの、場所を活用した様々な体験活動を通して、ふるさとを思う気持ちを高め、子どもたちの相互や異年齢での交流を促し、社会性や人間性を育むことを目的としています。

今年度も多くのプログラムを予定し、自然体験、世代間交流、ものづくり、歴史体験などバラエティー豊かな内容となっています。ぜひ、夏休みに様々な体験にチャレンジしてみませんか。

○今年度のプログラム予定

- ①牧場体験とジエラードづくり
- ②おじこちゃんとおばあちゃんと絵を描く
- ③ビカリア化石発掘
- ④ガラメンと陶芸体験
- ⑤手づくり絵本教室
- ⑥巻き寿司体験
- ⑦海釣り体験
- ⑧歴史体験
- ⑨ひとはくで自然体験

○これまでの体験活動の様子



ご意見・ご感想をお寄せください。

(問い合わせ先) 多可町教育委員会こども未来課 TEL: 0795-32-2385 FAX: 0795-32-4318